

# 学びと誇りが実感できるまち

～ 夏休みの過ごし方に工夫を！～



令和5年8月号

庄原市教育委員会  
教育長 牧原 明人

白露もこぼさの萩のうねりかな (松尾芭蕉)

子供達が活躍している様子を3つ紹介します。

1つ目は、7月15日(土)に行った子供司書養成講座のことです。

本年度は6校の小学校から5・6年生16人の本好きな子供達が集まり、第1回目の講座を受講しました。これから約6か月間、図書館や学校において、自ら積極的に読書することをはじめ、「読み語り」「ポップづくり」「図書室の環境整備」など、友達に読書の輪が広がる推進活動に取り組みます。

2つ目は、7月28日(金)に行った小学生の水泳記録会のことです。

すべての小学校から57人が参加し、自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ、そしてリレーなど、自分達の目標をめざし練習してきた成果を存分に発揮しました。ただ、残念ながら大会新記録は出ませんでした。

3つ目は、5月中旬から行っている中学校2年生の職場体験学習のことです。

すべての中学校で取り組んでいますが、3日間～5日間、各地域の事業所での体験や農業体験など、それぞれの職場で新たな発見をしたり、働く姿から学んだり、充実した活動を行っています。「来年度は、うちの事業所にも来てほしい。」といった声が複数出ており生徒たちが頑張っている様子が見えます。

さて、今回は、夏季休業中の過ごし方についてです。

毎日、子供たちは家庭や地域でどんな生活をしているのでしょうか。自由になる時間が平素よりたくさんあるので、自分自身で毎日継続して行うことを決め、生活習慣を確立するとともに、休業中だからこそできる計画も立て、しっかり取り組んでほしいと思います。チャンスをいかすよう家庭でも応援してください。

## 【小学校高学年の計画例】

毎日すること	夏季休業中にやりたいこと
○就寝・起床時間を決めた生活をする	○科学研究をする
○朝食(栄養バランスを考える)を食べる	○親子でキャンプや自然体験をする
○少なくとも▲▲時間勉強をする	○募集している作品に応募する
○読書を▲▲分する	○水泳で▲▲m泳げるようにする
○日記を書き続ける	○本を▲▲冊読む
○手伝いをする	○星座の観察をする
○家族と何でもいいから話をする	○身近にある博物館・資料館などへ行く

子供たちが、夏休みの生活を通して、何か1つでも2つでも、自分でやることを決め、計画を立て、やり通す体験ができると、今後、自信や意欲をもって行動するなど、成長する姿につながっていくと思います。